



文社協キャラクター「まぐく文」

文京区社会福祉協議会 文社協だより

平成27年(2015年)

11/10

No.98

- 社会福祉協議会は社会福祉法に基づき、全国・都道府県・市区町村のそれぞれに組織されている民間団体です。
- 文京区社会福祉協議会(=文社協)は1952年に設立し、1963年に社会福祉法人の認可を受けました。
- 文社協は区民の皆さんをはじめ、民生委員・児童委員、町会・自治会、地域の関係者等の参加と協力を得て、誰もが安心して住み続けられるまちづくりのため、様々な事業を通じて地域福祉の向上と充実に努めています。

☎03-3812-3040 FAX 03-5800-2966 <http://www.bunsyakyo.or.jp/>

歳末・地域福祉たすけあい運動にご協力をお願いします

募金期間 **12月1日(火) ▶ 15日(火)**

歳末・地域福祉たすけあい募金は、共同募金活動の一環として、町会・自治会をはじめとする地域住民の方々や民生・児童委員等の関係機関の協力により実施します。

この運動に寄せられた募金は全額、文京区の地域福祉を支える財源として活用されています。昨年度は総額15,210,750円の募金が寄せられました。



募金方法

募金方法には3通りあります。

①町会や自治会を通じて

②文社協窓口にて

文京区向丘2-5-7
(平日の8:30~17:15)

③ゆうちょ銀行の口座への振込

記号・番号：00130-5-583770

加入者名：文京区社会福祉協議会歳末・地域福祉募金口

※「共同募金運動の一環」として行なわれている「歳末たすけあい運動」に対するの寄附金は、税制上の優遇措置があります。



ふれあいいいききサロン (健康体操中)



災害時支援ボランティアの組織化

募金はこんな事業に使われています。

- 一人暮らし高齢者へのみまもり訪問
- ふれあいいいききサロン
- 障害者団体への助成
- 青少年健全育成活動への助成
- ボランティア団体への活動助成
- 災害時支援ボランティアの組織化 など



ボランティア団体活動助成 (プレイパーク)



ふれあいいいききサロン (親子でおやつ)

皆様一人ひとりのあたたかいご協力によって文京区の地域福祉が支えられています。

☎ 総務係 ☎ 3812-3040

広告

www.shobix.co.jp

「想いをカタチに」するために、
私たちにしかできないことがあると思う。

勝美印刷

〒113-0001 東京都文京区白山1-13-7 アクア白山ビル5F
TEL. 03-3812-5201 FAX. 03-3816-1561

東京都在宅療養環境整備支援事業 小石川医師会
在宅療養支援相談窓口

☎03-6912-0810
こんな時にご相談ください

- 病院に入院しているが自宅に戻りたい
- 訪問診療について知りたい
- 介護や医療サービスについて知りたい
- 地域のサービスを知りたい
- 訪問してくれるかかりつけ医を探している
- その他医療介護のことなんでも

どなたでもお気軽にご相談ください!!
ケアマネジャーの資格を有する看護師

文京区小石川5-6-9 小石川医師会内
受付時間 9:00~17:00(月~金)

東北 BX マルシェ
うまいものフェア

12月4日(金)
11:30~19:00
場所：文化シヤッター-BXビル

文化シヤッター CSR 統括部
03-5844-7330

後援 丸山福山町町会
文京区社会福祉協議会

協力 宮城県東京事務所
福島県東京事務所

至白山
BXビル
西片交差点
至水道橋

広告募集!

文社協だよりに広告を掲載しませんか!!

文社協だよりに広告を掲載しませんか。
10万9千部発行で区内全戸配布です。
掲載面は1面と最終面のカラーページです。

詳細は下記までお問い合わせください。
※広告料収入は地域福祉の推進に活用します。

☎ 総務係 ☎ 3812-3040

文京区地域福祉活動計画を策定しています。 ご意見をお寄せください！

◆計画策定の趣旨

近年、我が国の社会では、認知症高齢者の増加や待機児童の問題など、さまざまな課題が浮かび上がっており、地域住民をはじめとしたさまざまな活動主体の力を活かした地域福祉に対する期待がますます高まっています。

文京区では、町会・自治会等の小地域福祉活動や、ボランティア・市民活動団体のさまざまな分野での活動など、地域福祉の取り組みが活発に行われています。このような取り組みを活かしながら、新たな時代に対応できる地域社会の実現と社会福祉協議会の体制整備を進めるために、平成28年度から平成31年度までの4年間の期間とする新たな計画を策定しています。

この計画は、区が策定した「文京区地域福祉保健計画」と連携した計画として策定します。地域住民をはじめ、地域福祉関係者・関係団体、社会福祉協議会など、さまざまな活動主体が協働して、行政とも連携を図りながら、地域全体で計画を推進していきます。

◆基本理念

誰もがつながりを持ち、支えあえるまち

誰もがいきいきと自分らしい生き方ができ、地域でのつながりを持ち、ともに支えあいながら、安心して地域で生活できるまち

◆目指すまちの姿

ともに支えあえるまち

支えあいの信頼関係があり、困ったときに助けあえるまち

みんなが活躍できるまち

障害や年齢などに関わらず、誰もが社会に参加し、活躍できる機会があるまち

安心していきいきと暮らせるまち

身近な地域で、誰もが安心していきいきと生活できるまち

ご意見をお寄せください！

～素案の閲覧と意見募集について～

「文京区地域福祉活動計画（素案）」の全文は、文京区社会福祉協議会ホームページに掲載するほか、文京区社会福祉協議会窓口でご覧になれます。

より良い計画づくりのために、皆様のご意見をお寄せください。

- 募集期間 11月1日（日）～30日（月）
- 提出方法 ご意見は下記の①～④いずれかの方法で11月30日（月）までに、文京区社会福祉協議会にお寄せください。様式は問いませんが、必ず住所と氏名を記入してください。
 - ①持参：下記住所に直接お持ちください。
 - ②郵送：下記住所にはがきまたは封書でお送りください。（11月30日（月）消印有効）
 - ③FAX：下記FAX番号にお送りください。
 - ④E-Mail：下記メールアドレスにお送りください。

- 提出先 文京区社会福祉協議会
〒113-0023 文京区向丘2-5-7
FAX：03（5800）2966
E-Mail：kanri@bunsyakyo.or.jp
- その他 いただいたご意見には、個別のご回答はいたしませんのでご了承ください。

問 総務係 ☎ 3812-3040

地域福祉活動計画の体系

基本目標

主な取り組み

基本目標1
みんなで支えあう地域づくり

- 地域の交流・支えあいの推進
- 安心して暮らすためのみまもり活動
- 気軽に集える居場所づくり
- 地域活動への参加を促す取り組み
- 地域の防災力の向上

基本目標2
地域で活躍する人財・団体づくり

- ボランティア・市民活動参加のきっかけづくり
- ボランティア・市民活動を活発化する活動拠点づくり
- 企業、商店街、学校・大学等との連携

基本目標3
区民の生活を支える仕組みづくり

- 日常生活を助けあう仕組み
- 子育てを助けあう仕組み

基本目標4
安心して暮らせる体制づくり

- 福祉情報を広く伝えるための取り組み
- 困ったときに気軽に相談できる仕組み
- 権利を守るための取り組み
- 災害ボランティア体制の整備

身近な地域で取り組むこと

文京区全体で取り組むこと

この計画は、『地域福祉活動計画』と『社協発展・強化計画』を一体的に策定しています。

地域福祉活動計画

社会福祉協議会が呼びかけて、地域住民や民間団体、社会福祉関係者等が協力して策定する地域福祉の推進を目的とした活動・行動計画です。

基本目標1 ▶ みんなで支えあう地域づくり

文京区では、町会・自治会や民生委員・児童委員等が中心となって、みまもり活動や居場所づくりなどの小地域福祉活動が活発に行われています。また、4つの日常生活圏域ごとに地域福祉コーディネーターが配置され、地域の力を活かすための支援やネットワークづくりなどを進めています。今後は地域の居場所をさらに増やし、そこを拠点として住民主体の取り組みの輪を広げていきます。

基本目標2 ▶ 地域で活躍する人財・団体づくり

多くの区民にボランティア・市民活動団体の活動への関心を持ってもらい、参加のきっかけづくりを進めるために講座やイベント等を開催しています。団体の活動を支援するために、ネットワーク構築や環境整備を進めています。今後はさまざまな分野の地域活動に関する情報提供の充実や、社会起業家・NPO法人等の活動も支援できる相談体制等の整備、地縁活動や企業・大学等との交流・連携を図っていきます。

基本目標3 ▶ 区民の生活を支える仕組みづくり

地域には、支援を必要としている人と支援を提供したいと考えている人がいます。これらの人を適切に結びつけて困りごとの解決を図る仕組みとして、いきいきサービスやファミリー・サポート・センターなどが運営されています。今後は地域住民がより参加しやすく、利用者と担い手をより有機的にマッチングできる仕組みを構築していきます。多様な地域ニーズに対応するため、事業の拡充や地域との連携・協働についても検討していきます。

基本目標4 ▶ 安心して暮らせる体制づくり

地域には、困りごとを抱えていても、誰に相談したら良いか、どのような支援があるのかわからない人がいます。今後は関係者間の情報共有と連携を強化し、福祉情報が必要な人に伝わるようにするとともに、気軽に相談しやすい体制づくりを通じて、困っている人が相談や支援に確実につながるための仕組みを充実していきます。また、権利擁護事業の適切な運営を図っていきます。

社協発展・強化計画

組織や運営のあり方など、社会福祉協議会の体制整備に関する計画です。

◆経営理念

私たちは、「誰もがつながりを持ち、支えあえるまち」を実現するために、以下の経営理念を心に留めながら職務に取り組んでいきます。

**地域をつなぐ社協
一人ひとりに寄り添う社協
未来に向かって挑戦し続ける社協**

◆組織体制・業務改善

●**地域のニーズに対応できる組織体制づくり**
地域のニーズに対応できる組織体制づくりを進め、地域福祉を効果的・効率的に推進していきます。部会の活性化などを通じて地域の方に参画していただく仕組みについて検討し、改善を図るとともに、職員間・係間の連携を強化し、社協全体で事業を推進する仕組みを構築していきます。

●**社協の取り組みの可視化**
社協の取り組みを地域住民、関係者・関係団体・関係機関、行政などに知っていただくために、社協がどのように課題解決に取り組んだかを記録することで、取り組みの可視化を推進します。

◆人材育成

●**“育ち合う組織”になるための土壌づくり**
社協が“育ち合う組織”になるために、地域で求められる職員像を明らかにした上で、各職員のキャリアに対応した研修受講やOJTの推進等を通じて、効果的な能力開発を行います。また、各職員・係の成果を社協全体で共有し、活用するための取り組みを実施します。

◆財源確保

●**広く地域の共感を得て、寄付や会費等の自主財源の拡充を図る取り組み**
文社協が区民や関係者・関係団体等に広く共感を得て、組織として成長していくために、会費や寄付などの自主財源の拡充を図ります。効率的で無駄のない経営を行うための財務運営についても検討します。

活動主体ごとの位置づけ

地域住民	地域福祉関係者・関係団体	社会福祉協議会
文京区にお住まいの方、 在勤・在学の方など 	民生委員・児童委員、地域活動団体（町会・自治会、高齢者クラブ等）、ボランティア・市民活動団体、福祉サービス事業所、福祉関係団体（障害者団体等）、企業・商店街、教育機関（学校・大学等）、行政（区・警察等）など	地域福祉コーディネーター、 ボランティア・市民活動センター、 権利擁護センターなど 
身近な地域の暮らしの中で、ときには支える側となり、ときには支えられる側として、日常的なみまもりやちょっとした手助けなどを行います。	民生委員・児童委員や町会・自治会をはじめ、さまざまな関係者・関係団体が地域住民の取り組みを多方面からサポートします。	地域福祉コーディネーターが中心となって、地域の交流・支えあいを活発化し、住民主体の取り組みをサポートするとともに、地域のさまざまな活動のコーディネートを行います。
地域活動に興味や関心のある方が、ボランティアとしてさまざまな取り組みに参加します。	ボランティア・市民活動団体が中心となって、さまざまな分野の取り組みを推進するとともに、関係者・関係団体が連携して活動をサポートします。	ボランティア・市民活動センターを中心に、活動参加のきっかけづくりや活動拠点づくりなどを通じて、活動の活発化を図ります。
支援を提供したい方が、支援を必要としている方のために、さまざまな手助けを行います。	関係者・関係団体が支援を必要とする人の紹介や情報共有などを通じて取り組みに協力します。	支援を提供したい人と支援を必要としている人をつなぐ仕組みを運営するとともに、支援の担い手を発掘・育成することで取り組みを推進します。
普段の近所づきあいの中で、情報交換したり、できる範囲で相談相手になったりします。困ったことや気がついたことなどがあれば、社協や地域福祉関係者に伝えます。	関係者・関係団体がそれぞれの取り組みの中で必要に応じて情報提供や相談支援を行うとともに、地域住民や社協、行政と連携して安心して暮らせる体制を構築します。	さまざまな媒体を通じた情報提供や、困ったときに気軽に相談できる仕組みの運営を行うとともに、高齢者や障害者などの権利を守るための取り組みを推進します。

知ってて良かった 文社協

子育て世代なら……

1人の子育てで不安がいっぱい



ケース1

ひとり親家庭

Aさん(30代女性)、Bちゃん(保育園児)

訳あって1人で子育てすることになったAさん。仕事に復帰しましたが残業で保育園のお迎えに間に合わない日も出てきました。現在の仕事は試用期間中。将来もし安定した収入を得られなかった時のBちゃんの学費のことも心配になってきました。

文社協には子育て中の方を対象とした事業が複数あります。ファミリー・サポート・センター★(以下ファミサポ)では保育園の送迎や提供・依頼会員の自宅での預かりを、いきいきサービス★ではひとり親家庭や、産前産後のお母さんたちへの家事支援のサービスを行っています。

また、学習塾の費用や、高校や大学等の受験料の貸付を行う受験生チャレンジ支援貸付事業や入学金・授業料等の貸付を行う生活福祉資金貸付制度(教育支援資金)の相談・申請の受付を行っています。

文社協にいろいろな子育て支援事業があるのを教えてもらった



〇〇ちゃんのママも使ったことがあるらしいのよ～

どうなるかと思った日もあったけど



文京ボランティア・市民活動センターでは夏休みに児童・生徒を中心としたボランティア体験プログラム(通称:夏ボラ)を実施しています。中には親子で参加できるものもあります。

高齢者の方なら……

入院後車いすの生活に… 幾つか出てくる困りごと



文社協では認知症や障害、難病等により、福祉サービスの利用手続きや金銭の管理、重要書類の保管等に不安のある方に対し、適切な福祉サービスを選択したり、円滑に利用するための手続きや支払いを支援する福祉サービス利用援助事業を実施しています。また、いきいきサービスでは食事の支度、掃除等の家事や外出の介助等の支援を行っています。

文社協でそがあるらし

福祉サービス利用援助事業

文社協さんに聞いてみますね!

もしかしたら入院前よりにぎやかなたかもしれないな…



担い手募集中

今回紹介した各ケースに出てきた★のついている事業は区民の皆さんの参加で成り立っています。これらの活動に興味をお持ちの方法についてご説明いたします。

★いきいきサービス ☎ 5800-2941

★ファミリー・サポート・センター ☎ 3812-3043

★災害ボランティア ☎ 3812-

賛助会員募集

あなたも地域福祉の
応援団になろう!



●文社協賛助会員とは？

賛助会員は、文社協の事業の趣旨に賛同し、資金面で地域福祉の推進を支えてくださっている、いわば地域福祉の応援団です。普段忙しくて地域で活動ができない方、社会貢献をお考えの会社や事業所の方も参加できる、気軽な支援です。

●会員になるには？

年額1,000円（1口）からで、個人・団体を問わずどなたでも会員になれます。地域の民生委員または文社協窓口、郵便振込で、年間を通じて受付しています。
お申込み・お問い合わせ 総務係 ☎3812-3040

ケース2

一人暮らし高齢者

Cさん（80代男性）

もともと文社協のみまもり訪問事業（月2回程度高齢者宅にボランティアが訪問する事業）を利用していたCさん。自宅で転倒して骨折したため入院。その後、退院したものの車椅子生活となり介護保険のサービスを利用しながら生活しています。近居している息子がいますが、仕事が忙しく支援は受けられません。また、介護保険を使ってリハビリを兼ねたデイサービスに通ったり、ホームヘルパーに来てもらったりしていますが、解決できない問題がチラホラ出てきました。また、最近、認知症のような症状も見られるようになり金銭管理に不安を覚えることも増えてきました。

の困りごとに対応できそうな事業



いきいきサービス

文社協？
そんなことも
やっていたんだ!?

生活になっ



心配ごとが少し減ったせいか、外出にも前向きになったCさん、ふれあいいいききサロン(以下サロン)への参加を検討中です。サロンとは地域の皆さんが自発的・自主的に運営する地域の皆さんの仲間づくりや交流の場です。文社協ではこのサロン活動に対する助成金などの支援を行っています。

災害時にも……

「いざ災害が起きた時」 社協の取り組み

災害ボランティアセンター*とは??

大規模災害時、文京区社会福祉協議会は災害ボランティアセンターを設置します。被災された区内住民のニーズを把握し、ボランティアの力とおつなぎします。被災された方が元の生活に戻れるよう、支えあいの力で共に取り組んでいきます。

被災され支援を必要としている人



支援をしたい人 力になりたい!!

力仕事なら
まかせて!!



事務作業なら
できるよ!



話し相手に
になりたい

災害ボランティアセンター

ニーズ把握

情報発信

ニーズと活動希望者をマッチング



職員やボランティアスタッフで運営します

普段は

- ・災害ボランティアセンターをともに運営して下さる方への講習、訓練
- ・防災をテーマにした交流会
- ・地域のつながりづくり

などを行っています。



いざ災害が起きた時に支えあえる地域づくりを応援しています

ちの方はぜひご連絡ください。登録方法や参

講座 おしらせ
イベント

インフォメーション

information

凡例：日 日時 会 会場 内 内容 師 講師 対 対象 定 定員 ￥ 費用
申 申込 締 締切 問 問合せ

講座 12/12 親族の後見人をされている方向け学習会&座談会
(土) 「先輩後見人に聞いてみよう」

就任後の業務について「こんな時、どうしたら?」と感じていることを、実際に後見人として活動している司法書士の話聞いて参考にしてみませんか。参加者同士の意見・情報交換も予定しています。

- 日 12月12日(土) 午後2時~4時
- 会 男女平等センター研修室D(本郷4-8-3)
- 師 佐々木靖郎氏(リーガルサポート東京所属司法書士)
- 対 文京区在住・在学・在勤者のうち、親族の後見人として活動されている方
- ¥ 無料
- 定 10名(申込順)
- 申 11月17日(火) 午前9時から下記問合せ先に電話にて
- 問 あんしんサポート文京 ☎3812-3156

相談会 福祉法律相談・成年後見制度相談

福祉法律相談：福祉サービスの利用に関するトラブルや疑問、高齢者、障害者の日常生活における法的な事柄について、弁護士がご相談をお受けします。

第4水曜日 午後1時30分~3時30分(おひとり30分)

成年後見制度相談：成年後見制度、相続、遺言、財産管理などについて、弁護士・司法書士がご相談をお受けします。

第1・3水曜日 午後2時~4時(おひとり1時間)

- 会 文京区社会福祉協議会 2階相談室
- 師 福祉法律相談：弁護士
成年後見制度相談：第1水曜 司法書士/第3水曜 弁護士
- 対 文京区在住・在学・在勤者
- ¥ 無料
- 定 福祉法律相談：各回4名
成年後見制度相談：各回2名
- 申 下記問合せ先に電話予約
- 問 あんしんサポート文京 ☎3812-3156

イベント 11/18 福祉のしごと相談・面接会
(水) ~東京都福祉人材センターと共同開催~

文京区内の介護・福祉事業所による合同就職相談・面接会を開催します。身近な地域の中で、福祉の資格を活かして仕事がしたい、福祉の仕事に関心があって福祉の職場で働いてみたいという方、ぜひお気軽にご来場ください。

服装自由/入退場自由/質問・相談だけでもOK

- 日 11月18日(水)
受付開始 午前11時30分 受付終了 午後3時30分
- 会 文京シビックセンター1階ギャラリーシビック
- ¥ 無料
- 問 地域福祉推進係 ☎5800-2942 FAX 5800-2966

イベント 11/18 水 アクティブ介護27~文京みんなの集い~

「老いても安心して暮らせる地域社会を目指して」をテーマに、認知症講演会の開催、パネルや福祉用具の展示、介護相談等により福祉・介護の魅力を伝えます。

- 主催：アクティブ介護27実行委員会
- 共催：文京区、文京区社会福祉協議会
- 日 11月18日(水) 午前10時から午後4時まで
- 会 文京シビックセンター1階 展示室1、展示室2
文京シビックホール スカイホール
- ¥ 無料
- 問 地域福祉推進係 ☎5800-2942 FAX 5800-2966
文京区介護保険課 ☎03-5803-1383

避難者・被災者の交流会

「おちゃっぺ会」

平成23年7月から2か月に1回開催している、東日本大震災の影響で避難されている方の交流会「おちゃっぺ会」。

今年で5年目を迎えました。

お昼ご飯は皆さんで作りながら交流するのが恒例になっており、9月は秋を感じられるきのご飯に味噌汁、酢の物、梨を美味しくいただきました。

おめでたいことに当日お誕生日の方が2名いらっしゃり、ボランティアさんの手作りケーキにデコレーションをして皆さんでお祝いしました。

今回は15名の参加と少人数でしたがアットホームな雰囲気、いつも以上に会話も弾みました。

おちゃっぺ会はお互いの近況を気兼ねなくお話しできる場になっており、「自分は郷里に帰りたいが子どもが反対している」といった悩みを共有したり、「こうやって集まって方言でゆっくり話ができる場が嬉しい」という声も聞かれます。

また参加している小さなお子さんが来られるのを楽しみにしている方も多くいらっしゃいます。

発災から4年半。

語られることが少なくなってきた状況だからこそ、このおちゃっぺ会を今後も続けていきたいと思えます。



おちゃっぺ会へのご参加を希望される方は下記の電話へお申込みください。次回は11月28日(土)です。

問 市民活動支援係(文京ボランティア・市民活動センター)
☎3812-3114

寄付金・寄付品

(8月~9月)

皆様から頂いたご寄付は地域福祉推進のための事業に使わせていただきます。ありがとうございます。(敬称略)

* 当会への寄付は一定の条件の下、税法上の控除の対象になります。

寄付者ご芳名(敬称略) / 寄付額(円)	寄付者ご芳名(敬称略) / 寄付額(円)
後楽クラブ 3,956	日本女子大学教職員組合 5,000
CVSピープル(募金箱) 6,992	原澤 斉 5,000
白石 由博 5,000	ファミリーマート白山駅前店(募金箱) 7,541
匿名 1,516	文明堂書店(募金箱) 2,133
匿名 2,000	堀越 董 30,000
匿名 5,000	宮崎 勇 5,000
匿名 5,000	鹿鳴館 10,000
匿名 5,000	匿名 切手
匿名 3,000	

問 総務係 ☎3812-3040

注目のこの人!! ③③

NPO法人Curiosity
(キュリオシティ)

区内で活躍する人・団体を、文社協がインタビューします。

文京の地域のか

高校生を対象に、起業体験を通じて地域と関わり世界を広げる機会をつくっていらっしゃる、NPO法人Curiosity代表小川智康さんにお話をうかがいました。

文社協(以下文) NPO法人Curiosityとは、どのような団体ですか。

A 高校生対象のチャリティ起業体験講座を運営しています。チャリティの為に物販・イベント等の企画から運営まで全てを高校生自身で実施する取り組みです。20~60代まで地域の幅広い世代の学生・社会人がボランティアとして活動を支援しています。

文 具体的な活動内容を教えてください。

A 応募した高校生がグループを組んでそれぞれがチャリティ起業の企画を立て、運営を行い実際に収入を得てそれを寄付するところまでを体験するプログラムを提供しています。その体験プログラムを大学生、社会人ボランティアスタッフが「伴走者」となりサポートします。

ワークショップやボランティアからのアドバイスを通じて企画を固め、「寄付先セッション」で寄付先団体との対話を通じて社会課題を知ります。実施した事業の収益を寄付するまでを行い、最後に最終報告会としてそれぞれのグループが活動の発表を行いました。

文 活動を始めたきっかけを教えてください。

A 学生時代、同じ大学生向けに工場や施設などを見学する社会科見学サークルを立ち上げ、様々な場所で見学や体験を行っていました。当時からこれをもう少し発展させて、よりリアルな体験ができる機会を作りたいという思いはありましたが、今のような活動を始めたのは社会人になってからです。社会人になってから学生時代の社会経験や様々な人と出会いの大切さを改めて感じたことをきっかけに、この団体を立ち上げました。人生の最初の大きな岐路である高校生の段階に色々な経験をする事で、視野を広げて欲しいと思っています。

文 やりがい、面白さを感じることはどのような時ですか。

A 色々な年代と一緒に作業を行う面白さがあります。高校生、大学生、ベテラン社会人、団塊の世代など多様な世代と個性が集まっています。普段出会わない人同士が出会い、背景や肩書き関係なく一緒に取り組む。独自のコミュニティがそこにはあります。体験の対象者である高校生にも、学校の中だけでなく外の世界とつながる機会となっていると感じます。

文 今後の活動について教えてください。

A この活動は、地域の様々な人と出会い、それぞれの経験や理想を語り合う中で少しずつ形が出来てきました。まだ2年目の取り組みですので、これからも人との関わりの中から活動をより活発にできればと思います。今後は高校生にとって一つ上の世代となる大学生がより関わりを深め、活動の中で高校生をサポートすることはもちろん、地域の身近な先輩になることができると良いなと思っています。高校生にとっては数年先の自分を考える上で手本にできますし、大学生にとっても自分の経験を伝えることで、成長できる機会になると考えています。



Vol. 22 地域福祉コーディネーター通信

地域福祉コーディネーターが、地域に出て感じたこと、気づいたことなどをご紹介します。



小石川で子どもの居場所
さきちゃんちが
オープンしました。



9/16 オープンイベントの様子

富坂地区地域福祉コーディネーターの上村です。今回は、小石川で新しく立ち上がった「さきちゃんち」について紹介します。

さきちゃんちは、子どもが安心して遊び、学び、過ごすことのできる地域を創るために、地域の有志の方が、地域の様々な方のご協力のもと、9月にオープンした子どものための居場所です。地域に住む子ども、そしてそれを支える地域の人々、団体に開かれた、緩やかな場作りを目指します。

内容: 毎週月曜日	9:30~15:00	「サロンゆるっと」 (主に乳幼児とその親がゆるっと集う場です)
毎週火曜日	16:00~18:00	「小石川あそびまなぶ」 (英語をつかって遊んだり、国際理解を学ぶワークをしたり、工作をしたりします)
毎週水曜日	13:00~17:00	「こども図書館」 (子どもが本を読みに来たり、遊びにきたりできます)
第3金曜日	13:00~15:00	「ゆる育カフェ」 (子育てに関するおしゃべりを楽しむ親子カフェです)
	17:30~19:00	「マイク子ども食堂」 (子どもが一人でもごはんを食べにこられる食堂です。会員制)

会場: 小石川3-36-14 2階
HP: <https://www.facebook.com/sakichanchi>
Eメール: sakichanchi@gmail.com
連絡先: 090-1355-6575 (八木)

上記以外にも様々なイベントを実施しています。ぜひ一度いらしてみてください。また、さきちゃんちを支援して下さる方も募集中です。 ☎ 地域福祉推進係 ☎ 5800-2942

区内企業合同研修会

「プロボノ基礎セミナー」を実施しました!

9月9日(水)、「プロボノ基礎セミナー~プロボノを知ろう~」を開催し、区内企業の社員だけでなく、積極的に地域活動されている方や大学生にもご参加いただきました。



講師として、プロボノ^(※1)としての経験が豊富で現在フリーランスファンドレイザー^(※2)として活躍されている小川宏氏を迎え、プロボノの基礎知識や具体的な事例紹介をしていただきました。

また、参加者の皆さんが自分の強みを活かし、NPO団体に対して自分のプロボノを考えるワークショップも行いました。職業上の専門性・スキル・知識や経験からどのようなプロボノが出来そうか、それによってどのような効果もたらされるか、意見交換の中からも皆さまの熱い思いを感じることができました。

この講座を通じて、皆さんが社会的課題解決に向けた活動実践につなげることができるよう、文社協では今後も継続したサポート支援を行っていきます。

(※1) プロボノ
各分野の専門家が、職業上の知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動
(※2) ファンドレイザー
ボランティア・NPO活動のため、ファンドレイジング(資金調達)の担い手を育成、支援する専門家

ファミリー・サポート・センター からのお知らせ

※ファミリー・サポート・センターとは、子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と、子育ての援助を行いたい方（提供会員）が、地域の中でお互いに助け合いながら子育てをする、会員制の事業です。

依頼会員宅での預かりを 開始しました!!

多くの方にご利用いただけるよう、10月下旬よりこれまでの『提供会員宅での預かり』に加え、『依頼会員宅での預かり』を開始しました。ぜひご利用ください。

【主な活動内容】

- ・保育施設等の保育開始前、または保育終了後に子どもを預かること
- ・保育施設等までの子どもの送迎
- ・学校の放課後、または学童クラブ終了後に子どもを預かること
- ・子どもの病気後で、登園または登校できない場合に預かること
- ・その他、主に仕事と育児の両立に必要な援助

※サポートをご希望の際は、事前の会員登録が必要です。下記問合せ先までご予約の上、センターまでお越しください。

子育てサポーター認定制度 スタンダードサポーター研修 受講生を募集します!!

文京区社会福祉協議会では今年度より、ファミリー・サポート・センター事業の内容を拡充し、その担い手となっていただく方を対象として『文京区子育てサポーター認定制度』を創設しました。

『文京区子育てサポーター認定制度』は、子ども・子育て支援新制度のスタートと合わせて創設された『子育て支援員研修』を活用した、文京区独自の新たな研修プログラムとなっています。また、受講できる研修が3段階（①スタンダードサポーター研修②セミエキスパートサポーター研修③エキスパートサポーター研修）あり、ステップアップすることで事業での活躍の幅が広がる仕組みとなっています。

今回、『子育てサポーター認定制度 平成27年度第2回スタンダードサポーター研修』の受講生を募集します。多くの方のご応募、お待ちしております!!

※日程や申込み方法等詳細は、区報ぶんきょう11月25日号をご覧ください。

講演会を開催します!!

『育児の悩みを楽にするテクニックとは～家族や地域の方々とのコミュニケーションを大切に～』ぜひご参加ください。

- 日** 平成28年1月14日(木) 午前10時～正午
- 会** アカデミー向丘 2階レクリエーションホール (向丘1-20-8)
- 師** 細部千晴氏(細部小児科クリニック院長)
- 対** 区内在住の方、ファミリー・サポート・センター会員
- 料** 無料
- 定** 50名(先着順)
託児: 10名程度。会員優先。1歳児～就学前児(申込み時に要予約)
- 申** 11月17日(火) 午前9時から下記問合せ先まで

問 ファミリー・サポート・センター ☎ 3812-3043

シリーズ
69

●募金箱のあるお店●



今回ご紹介するお店は、白山下にお店をかまえている創業87年の「白保花店」さん。社長の野上信吉さんは3代目だそうです。

白保花店さんは、各流派の生け花のお稽古や、お寺、学校の華道部などにお花を卸すことが多いので、季節の花だ

けでなく、和花がとても充実しているそうです。

最近は、生花だけでなく、お客さまのお好みのお花でプリザーブドフラワー*の注文も受け付けているとのこと。花の色が保たれるので、長く飾って楽しめるのがいいですね。

また、素敵な輸入雑貨も販売しているので、お花と雑貨のプレゼントの組み合わせも喜ばれると思います。

お店をやっていてよかったこととお聞きすると、花は贈られた人が喜び、喜んでる姿を見て贈った人も喜んで…と、花が取り持つ嬉しいエピソードを聞いたときだそうです。

さて、野上社長は白山下商店会の会長でいらっしゃいます。この夏、白山下商店会の7店舗が募金箱の設置にご協力くださいました。次号から順次、お店のご紹介をしていきます。

また、文社協のfacebookでも募金箱のお店の紹介を随時掲載しています。ぜひ、チェックしてみてくださいね。(※プリザーブドフラワーとは、生花を特殊保存加工することで瑞々しさや鮮やかな色合いを保たせ、長期間楽しめるお花のことです。)



●(株)白保花店 文京区白山1-32-4 ☎ 3811-4587
営業時間 月～土 午前9時～午後6時30分 日・祝日 午前9時～午後5時
木曜休み <http://www.hakuyasu.co.jp/>

ご協力ありがとうございます。

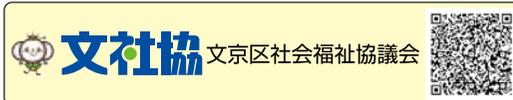
募金箱は、縦120×横100×高さ185mmで、レジの横に配置できるコンパクトサイズです。募金箱を置かせてくださるお店を大募集しています。いただきました募金は、地域福祉事業の財源にしています。地域でのイベントに募金箱を設置することもできます。お気軽にお問合せください。



問 総務係 ☎ 3812-3040

社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 ご案内

〒113-0023 文京区向丘2-5-7



☎ 3812-3040(代)
FAX 5800-2966

開所時間

8:30～17:15

祝日を除く月～金曜
(ボランティア・市民活動センターのみ第1・3土曜も開所)

◆発行は1/10、3/10、5/10、7/10、9/10、11/10の年6回です。

発行

社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

編集

広報紙編集委員会

